

4

Apr

{ 4月に予定されているセンターのイベント情報や、  
 その他のお知らせについてご案内します。 }

### クロツラヘラサギ「J16」の展示を行っています。

昨年末、漫湖で保護されたのち病院で治療を受け、その後無事放鳥されたクロツラヘラサギの「J16」に関する展示コーナーを設置しました。今回、クロツラヘラサギの保護やバンディング、放鳥に関わることができ、野鳥の傷病事例とそれに携わる医師や看護師、また放鳥にいたるまでの様々な方々の協力・結束を実感することができました。この経験を「J16」の記録とともに、「ぜひセンターを訪れる来館者にも知ってもらいたい。」という思いで、今回クロツラヘラサギを保護した職員が制作しました。今回の事例を通して、今一度干潟のゴミ問題に対する一般市民への普及啓発になってくれることを願っています。



展示の様子：写真だけでなく動画なども見られます。

### 「沖縄県の探鳥地ガイドMAP」を知っていますか？

これまで、センターを利用するバーダーの方々から要望が多かったのが「沖縄県内の探鳥地情報」でした。その要望に応えるため、当センターで昨年制作した『沖縄県の探鳥地ガイドMAP[中・南部地域編]』は、おかげさまで皆様に大変ご好評を頂いております。

この度、その第二弾として『沖縄県の探鳥地ガイドMAP[北部地域編]』を制作することとなりました。4月に完成する予定ですので、[中・南部地域編]とあわせて、まだお持ちでない方、必要な方は、ぜひ当センターまでご連絡ください。



沖縄県の探鳥地ガイドMAP  
 [中・南部地域編]

### 平成25年度漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 総会

漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会の総会が行われます。

■ 日 時：2013年4月24日(水)

■ 場 所：漫湖水鳥・湿地センター 研修室

Topic :

{ いきものファインダー  
 漫湖の風景 - 17 }



### シロツメクサのハダニ被害。

漫湖水鳥・湿地センターの前に、子ども達が駆け回れる大きな広場がある。開館当初はきれいな芝生が一面に広がっていたこの場所は、今ではシロツメクサがその大半で幅をきかせており、それに交じって、特に、春を迎える今の時期は様々な野草が楽しめる場所に変わっている。このセンター前のシロツメクサに昨年からの異変が起きている。ハダニが大量に発生しているのだ。写真からも見てとれるように、ハダニに汁を吸われ葉緑素が抜け、色褪せカサカサになってしまった葉からは、シロツメクサのあのみずみずしさは全く感じられない。その被害が今年にはさらに拡大しているように思う。大きさが0.5mmほどのハダニは水滴で濡れるため、適度な散水でもある程度死滅するらしい。ただ、全滅を期待するのなら、やはり梅雨入りを待つしかないのだろうか。

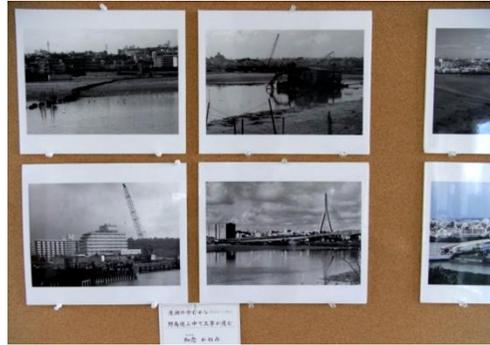
漫湖水鳥・湿地センター  
 Manko Waterbird and Wetland Center

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城982  
 TEL : 098-840-5121 FAX : 098-840-5118  
 E-mail : manko\_mizudori@ybb.ne.jp  
 URL : http://www.manko-mizudori.net/

## 世界湿地の日特別企画展

## 「漫湖の過去から今-今から未来へ」

センターでは、毎年2月2日の世界湿地の日にあわせて企画展を開催しています。今回は漫湖の写真展を開催しました。年代ごとに整理された写真や資料と、漫湖の経年変化が分かる地形図などで構成された写真展は、漫湖のこれまでの歴史を振り返り、これからの未来について考える良い機会となりました。期間中、地元の方をはじめ観光で訪れた県外からの来館者も興味深く見学されていました。



とよみ大橋ができる前の漫湖の様子が分かる

## 世界湿地の日エコアクション

## 全国湿地一斉クリーン作戦&amp;TV会議

2月11日、千葉県にある谷津干潟自然観察センターの呼びかけで、沖縄の漫湖と愛知県の藤前干潟、そして鳥取県と島根県にまたがる中海で、子ども達による一斉クリーン作戦が行われました。その時の様子はお互いにTV会議で報告しあい、各湿地のこどもたちが交流しました。漫湖エコクラブのメンバーは、清掃活動で集まったゴミの種類や量などを発表しました。交流した谷津干潟とは、湿地を取り巻く環境が漫湖と似ている所があり、ゴミの種類にも共通点が多かったのが印象的でした。



テレビ会議で発表するエコクラブのメンバー

## 野鳥観察会「鳥の学校」

○2月9日(土)10:00-12:00

○講師:山城正邦さん(沖縄野鳥の会会長)

○参加者:大人-11名 子ども-8名 計-19名

2月の観察会は、干潟の野鳥観察と鳥の羽についてのお勉強でした。双眼鏡で見た鳥の実物の標本に触れたり、本物の羽を間近で見られるとあって、減多にできない体験に、参加した鳥好きのこどもたちは大興奮でした。



みんなで協力してシロハラ tail feathers を並べてみる

■ 2013.2/1 - 2013.2/28

{ 漫湖で確認された野鳥 …………… 計 42種 }

## 漫湖寄鳥見鳥

## 漫湖で確認された鳥類一覧

2/14



## クロツラヘラサギの放鳥

昨年末、怪我をして弱っていたところを保護され手当を受けていたクロツラヘラサギが、この度無事に漫湖で放鳥された。保護されてから約2カ月、治療にあたられた先生をはじめ病院のスタッフ皆さんのおかげで傷も癒え体力の回復も早く、保護された当初ダメかもしれないと思われたこの若いクロツラヘラサギは、無事に自らの足で大地を踏みしめ飛び立っていった。今回の放鳥に伴い足環も付けた。足環には「J16」。日本で16番目の個体識別できるこのクロツラヘラサギには愛着もひとしおである。

1, ササゴイ	26, カワセミ
2, ダイサギ	27, リュウキュウツバメ
3, チウサギ	28, キセキレイ
4, コサギ	29, ハクセキレイ
5, アオサギ	30, シロガシラ
6, クロツラヘラサギ	31, ヒヨドリ
7, ハシビロガモ	32, イソヒヨドリ
8, ミサゴ	33, シロハラ
9, サシバ	34, ウグイス
10, ハヤブサ	35, シジウカラ
11, チョウゲンボウ	36, メジロ
12, コチドリ	37, スズメ
13, ムナグロ	38, ギンムクドリ
14, ダイゼン	39, ホシムクドリ
15, アカアシシギ	40, カラムクドリ
16, アオアシシギ	41, ムクドリ
17, キアシシギ	42, ドバト
18, イソシギ	43,
19, ダイシャクシギ	44,
20, ホウロクシギ	45,
21, チウシャクシギ	46,
22, タシギ	47,
23, ユリカモメ	48,
24, ズグロカモメ	49,
25, キジバト	50,

※この観察記録は、毎月実施されている鳥獣保護区の定点カウントの記録と、センターでの観察記録を基にまとめたものです。